

佐渡米通信 こめ〜る 11月号

ふれあいアッセ開催♪

3日の文化の日に、「第17回佐渡ふれあいアッセまつり」が佐渡市新穂湯上の佐渡広域総合流通センターで開催されました。市民バンドの演奏やもちつき大会、体験セリやゲームなど様々な催しで賑わい、家族連れなど多数のお客様が喜んでいらっしゃいました。開会式では、毎年実施されている「生きもの語り」の応募作品を紹介・表彰しており、今年は、イラスト川柳部門で“佐渡 kids 生きもの調査隊”の日比谷くんがグランプリを受賞しました。



佐渡産りんご



新潟名産きのこ



イラスト・川柳部門 グランプリ作品
全五色に
輝くいねが
おいしもう
おいしもう
「金色に輝くいねが おいしもう」
佐渡 kids 生きもの調査隊 日比谷 尊輝

↑ 佐渡産のりんごや秋野菜の販売の他、きのこ汁や新米おむすびが振舞われ、訪れた人は、秋の味覚を楽しんでいました。

JAグループが取り組んでいる「みんなの良食プロジェクト」のイメージキャラクター、笑味(えみ)ちゃんも遊びに来てくれました!



お米食べてね

↑「稲穂をみて美味しいおむすびを連想し、それが実は太陽の恵みだということを教えてくれるイラスト」と、高評価を受け受賞しました。

姉妹都市入間市で交流

11月8日より3日間、佐渡市の姉妹都市である埼玉県入間市において「入間の海 佐渡フェア」と題して同市内のイオン入間店でイベントが行われました。両市の「食」「自然」「産業」「文化」等を紹介するため、特産物の販売や様々な催しが開かれました。

入間市はトトロの森で有名なことから、どんぐりの絵付け体験(どんぐりトトロ)や、トトロのフィギュア展示が行われ、また、入間のブランド豚肉と佐渡の米・ネギ(ブランド名; やわ肌ネギ)がコラボした“いるま豚丼”が販売されました。佐渡市としては、「佐渡おけさ」の披露や、砂金取り体験を行い、おけさ柿・乳製品などの販売を行いました。そのほか佐渡食材を使用した、サザエのつぼ焼や“佐渡鰯(あじ) わい丼”などが販売され、いずれも多くのお客様で賑わっていました。



↓ 砂金取り体験コーナー



左: 佐渡鰯わい丼 右: いるま豚丼



↓ 佐渡産の牛乳やチーズ



↓ 秋の味覚 おけさ柿

初の試み「佐渡トキ中国の空へ羽ばたく」

佐渡で繁殖されたトキの子孫の放鳥が、今月10日に中国の河南省で行なわれ、歓声上がる中佐渡産トキがゲージより飛び立ちました。今年の11月10日は日本産で最後のトキ「キン」が死んで、10年に当たります。この記念する日に佐渡産トキの海外での初放鳥が行われたことに感慨ひとしおです。今回は、日本で繁殖されたトキの子孫を含む34羽が放鳥されたとのことでした。

